

多高通信

第108号 平成26年7月25日発行

祝 インターハイ出場決定!

東北大会 飛板・高飛込優勝!

■水泳部 遠藤 朱莉 (2年1組)

県大会ではとても緊張してしまい、上手く演技することが出来なかったのですが、東北大会に向けて、試合のときでも練習のときと同じように、落ち着いて自信を持って飛べるように練習しました。

8月17日から始まるインターハイでは、自分が持っている力をすべて出し切って、後悔しない演技をしてきたいと思っています。一生懸命頑張ってくるので、応援よろしくお願いします!



東北大会結果報告

■女子弓道部 部長 三浦 恵香 (3年7組)



6月27日〜29日に福島県郡山市で開催された東北大会では、たくさんの方々の応援を励みに大会に臨みました。残念ながら、決勝トーナメントまで勝ち進むことは出来ませんでした。選手たちは最後まで堂々と多賀城高校の射を見せてくれました! 本当ありがとうございました!!

■佐藤未来仁 (3年6組)



東北大会で対戦した選手は私よりも格上で、残念ながら初戦敗退となりとても悔しい結果でした。この経験を今後活かしたいと思います。

高校対抗バンド合戦 奨励賞受賞!

■ギター部 部長 遠藤 有美 (3年2組)

ギター部を代表して大会に出場した有美は、1年前に制作したオリジナル曲「ニギハヤヒ」を演奏しました。本番前、メンバー全員が緊張していました。が、たくさんのお客さんたちからの声援のおかげで私たちらしい演奏ができました。今年は何年にも比べてレベルが高いと聞いていたのですが、私たちが奨励賞を受賞できると思っておらず、とても嬉しかったです。これは部員の皆や応援してくださる皆さん、そして顧問の近野先生、駒木先生のおかげです。ありがとうございました。



美術部 地区展覧会ポスター入賞

■中島 成美 (2年3組)

私は今回の塩釜地区展覧会においてポスター賞をいただき、とても嬉しく思っています。今までに描いてきた作品よりも大きなキャンバスで油彩画に挑戦したので苦労しました。

今回の地区展では塩釜近辺の高校の美術部員たちが各々に筆をとり、試行錯誤を繰り返しながら作品の完成を目指します。各作品の縁縁はまるで扉のようで、その扉の中では別な世界が広がると私は思います。個性豊かなたくさんの方々の世界を見ていただけただけで嬉しいです。

■濱村恵梨子 (1年6組)



私の作品は家にあった画材をモチーフにし、実際に近付けるよう陰影の付け方を工夫しました。まさか入賞するとは思っていませんでしたので驚きでしたが嬉しかったです。ありがとうございました。

盛り上がった球技大会

■球技大会実行委員長 児玉千野子 (3年4組)

今回の球技大会において、実行委員長として嬉しかったことが2つあります。1つ目は、閉会式のときに私がみんなに「楽しかったですかー!」と問いかけた時に、「楽しかったー!」と答えてくれたことです。企画する側としては、とても嬉しいことでした。

2つ目は、多高生全体がきちんとけじめをつけて行動してくれたことです。球技大会がスムーズに進行するよう、本部からの指示を常に意識して行動してくれていたことに私は気付いていました。これは本当に嬉しかったです。おかげで、開会式から始まって競技で盛り上がり、最高の閉会式で幕を下ろすことができました。ありがとうございました!



ちきゅうテイスカバリー 野外実習

■下山 彩絵 (2年6組)

「地球を知る」ということは、先日の小俣先生の講演会では漠然としかイメージが湧かなかったのですが、実習に参加したことで明確なものとなりました。

事前学習ではリスクアアセスメントの作成、野外・屋内学習では北上川・鳴瀬川の砂の採取、雄勝湾でじゃすレートの観察、顕微鏡を使った鉱物の観察、コアの観察などを行いました。スレート

の観察では2地点の傾斜を計測し、その間の地層の形成状態を考えました。これらの作業は実際に研究者が行うものだそうなので、細かい作業を繰り返して行うことで、それが結果として新たな地球の姿を発見することにつながることを肌で感じました。貴重な体験が出来たので、今後みなさんも参加してみてください!



合唱部 32才定期演奏会♪

■櫻井 沙季 (3年7組)

定期演奏会にお越しいただいた皆さん、本当にありがとうございました! 今回の演奏会から会場を変え、チケットを有料にしたのでゼロからのスタートとなりました。半年以上前から準備を始めたにもかかわらず進度は遅く、時には部員同士が協力し、助け合いながら演奏会をむかえました。本番ギリギリで曲を仕上げ、当日に変更したところもあり、みんなとても不安でした。しかし、本番では合唱部らしい演奏をし、部員一丸となって来ていただいた方々に感動を届けることが出来たと思います。この経験は私たちにとってとても大きな自信になりました。

私たちはこれからNHKコンクールと全日本音楽コンクールに向けて前に進んでいきます。これからも応援よろしくお願いします。



教育実習を終えて

■石森 裕基 先生 (関東学院大学4年生)

温かい先生方や素直で優しい生徒の皆さんのおかげで、とても充実した教育実習となりました。母校で教育実習が出来たことを心から幸せに思います。生徒の皆さんには、勉強も部活動も遊びも全力で取り組んで、悔いの残らない高校生活を送って欲しいと思います。またどこかで会いましょう

